

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(25112)		
時間割担当	善野八千子		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	火・5		

授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

学習の到達目標

- ・学校現場の課題を知り、学級経営や実際の授業展開の工夫を学ぶ。
- ・グループ討議や相互批評を通して、個々のテーマを発表し、改善する。

授業方法・形式

- ・基礎で設定した個々のテーマを深め、課題解決の道筋をまとめる。
- ・テーマに基づいて、調査・観察・見学などを含む、さらなる情報収集をする。
- ・情報の整理・編集・発信をして、意見交流など多様な活動を行う。

授業計画

【前期】

- 第1回 ガイダンス：「人間教育学ゼミナール（応用）」の意義と目標
 第2回 ガイダンス：目標設定と履修計画
 第3回～5回 教育情報の収集：「問題の所在」
 第6回～8回 教育現場を知る：「テーマに基づく調査方法の検討」
 第9回～11回 教育現場から学ぶ：「テーマに基づく調査の実施」
 第12回～13回 教育現場から学ぶ：「テーマに基づく調査の分析」
 第14回～15回 前期の学びの成果と課題：プレゼンテーション

【後期】

- 第1回 ガイダンス：「人間教育学ゼミナール（基礎）」の意義と目標の確認
 第2回 ガイダンス：目標設定の見直しと履修計画の改善
 第3回～5回 教育情報の収集：「テーマに基づく調査の分析と考察」
 第6回～8回 教育現場を知る：「テーマに関する成果と課題」
 第9回～11回 教育現場における交流計画・準備
 第12回～13回 教育現場における交流（個々のテーマの発信）
 第14回～15回 意見交流をふまえ、学びや取り組みについてまとめる。

成績評価の基準

- ・積極的な授業参加及び課題・レポート等を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

- ・これからの学校教育や教師のありかた等について、ニュース等から、日常的に見識を深めること。
- ・教員の資質向上に資する文献を継続的に読み深めること。

履修上のアドバイス及

これまで学修した内容や方法の定着はもとより、身に付けたアカデミック・スキル (Academic Skills) を活用して行くことが大切です。これからの教員の専門性を磨くために学び、子どもたちの未来に役立つ研究のステップアップを期待します。

教材・教科書

必要に応じて、授業中に指示します。

参考書

必要に応じて、授業中に指示します。